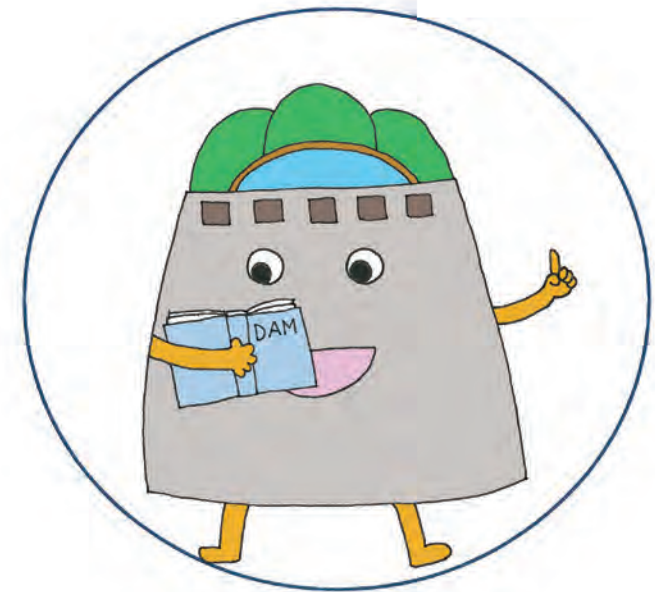


おしえてダムくん!!

ほりゅうへん
～ 放流編 ～



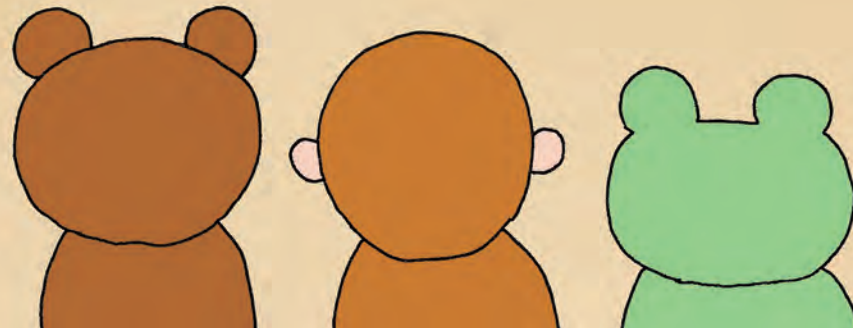
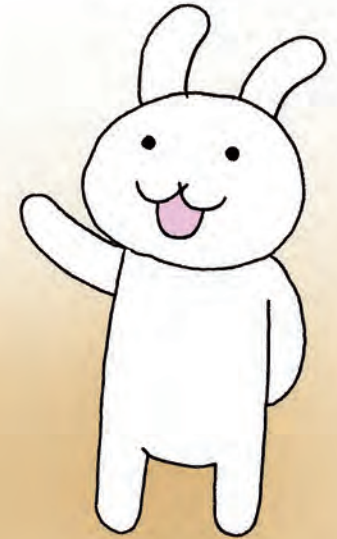
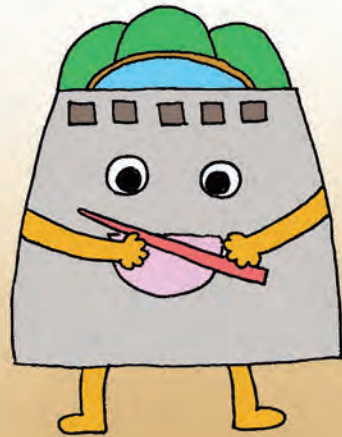
国土交通省 東北地方整備局
北上川ダム統合管理事務所

〒020-0123
岩手県盛岡市下厨川字四十四田1番地
電話 (019) 643-7831(代)

さくえ
作・絵 ながさわ のいこ

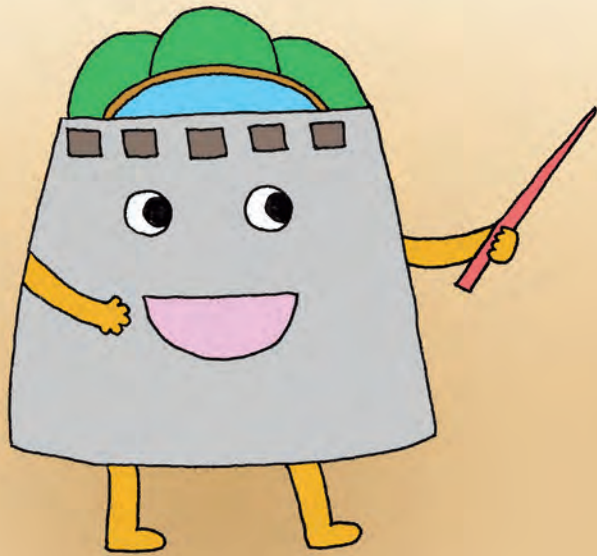
「今日はダムくんに、
ダムのお仕事しごとについて
教えてもらいます。」

「ダムくん、
よろしくお願ねがいします！」



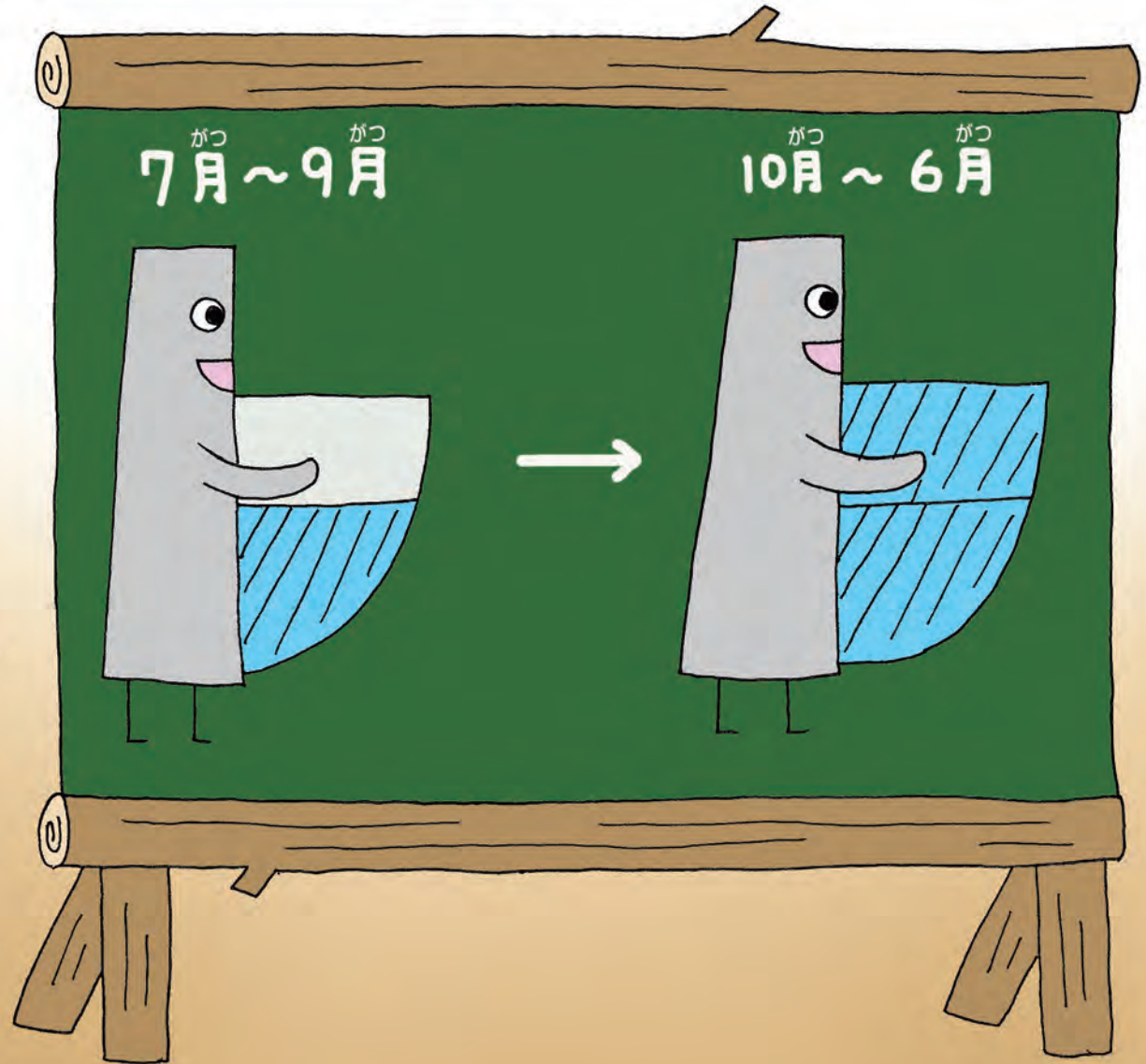
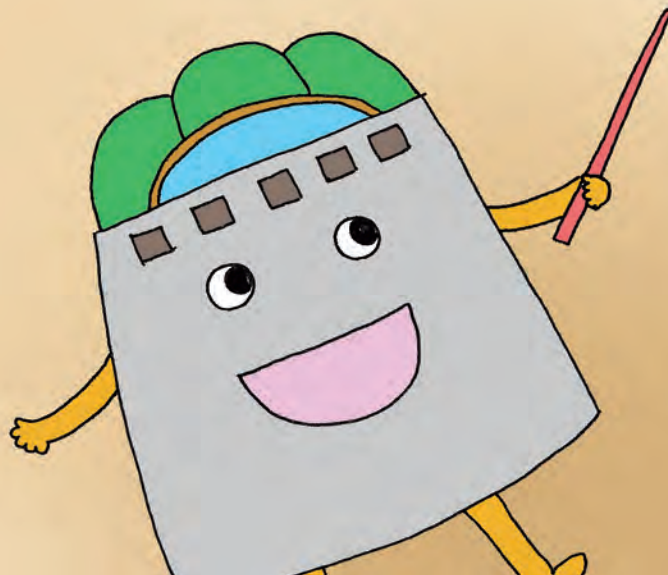
「コホン。」

「それでは、今日は“^{きみょう}放流^{ほうりゅう}”
についてお話し^{はなし}します。」



「^{なか}ぼくのお腹のお水はね、^{みず}
^{きせつ}季節によって、^ふ増えたり
^へ減ったりしているんだよ。」

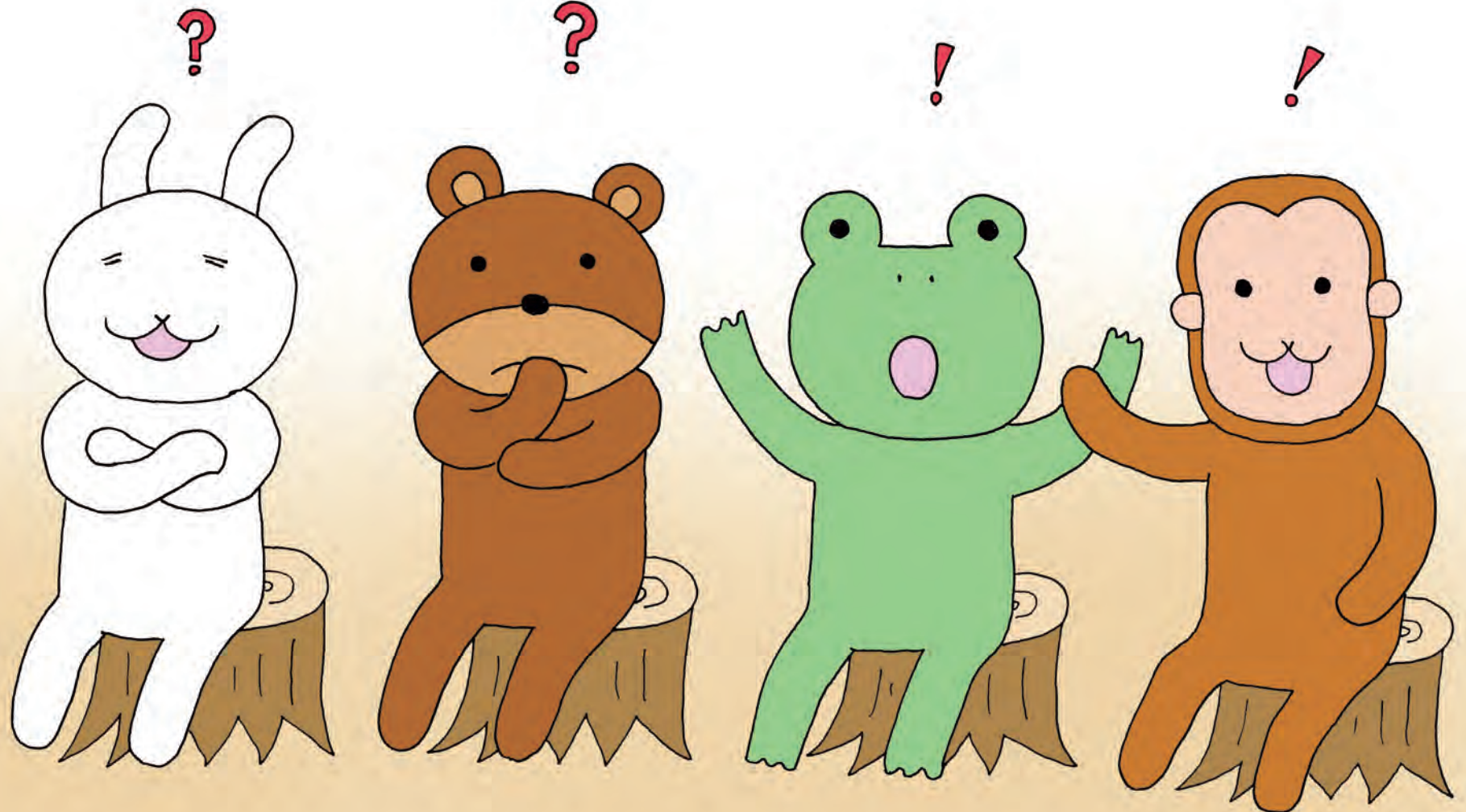
「どうしてかわかるかな？」



「う～ん、どうしてかなあ？」

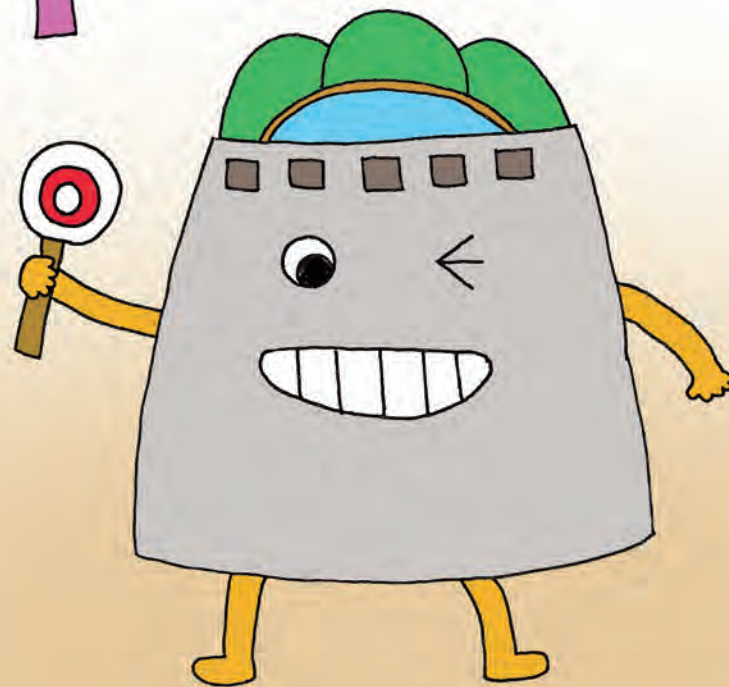
「あ、そうか！
7月～9月は雨がいっぱい降るケロ！」

「梅雨の季節だし、台風もくるもんね！」

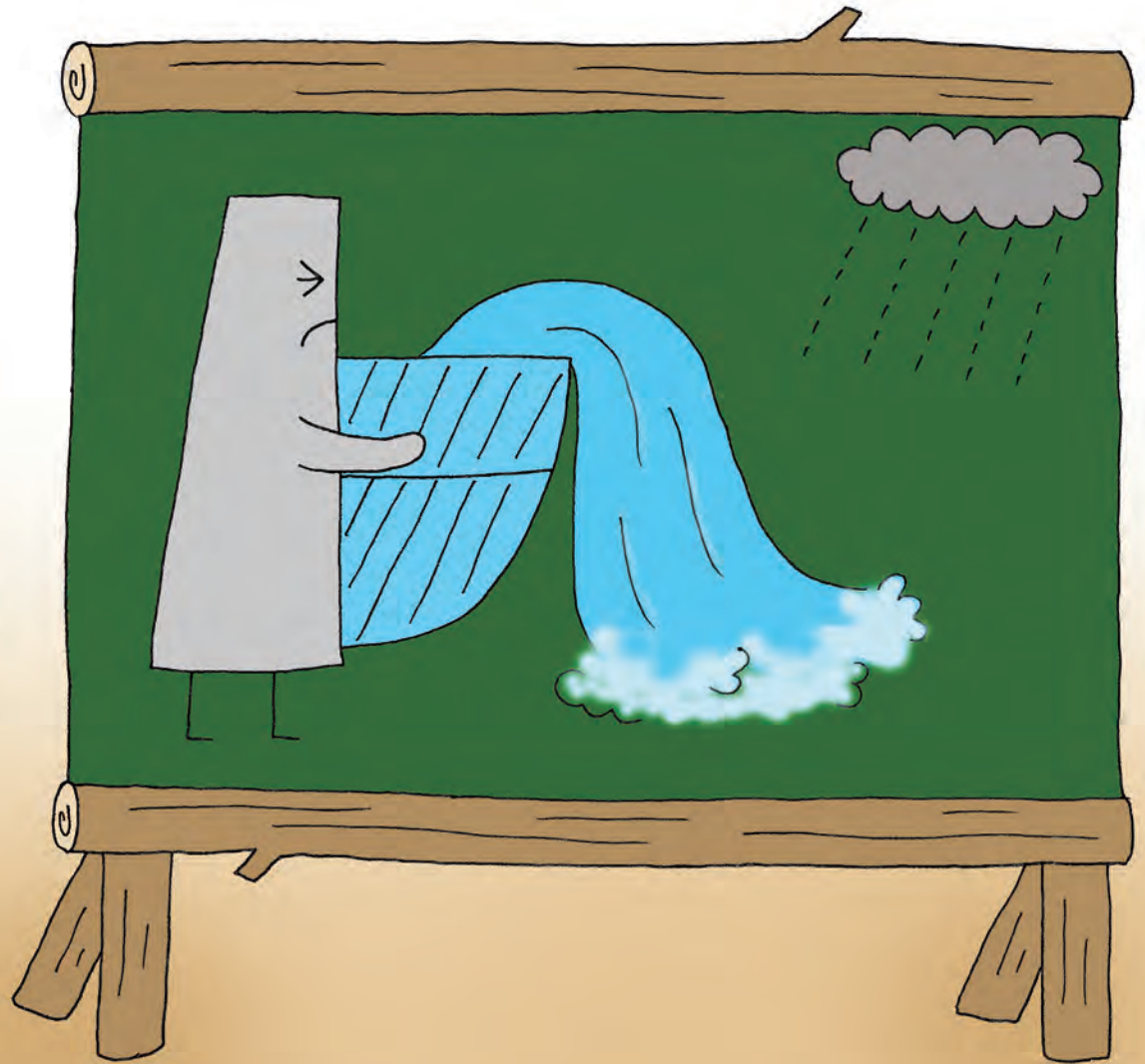
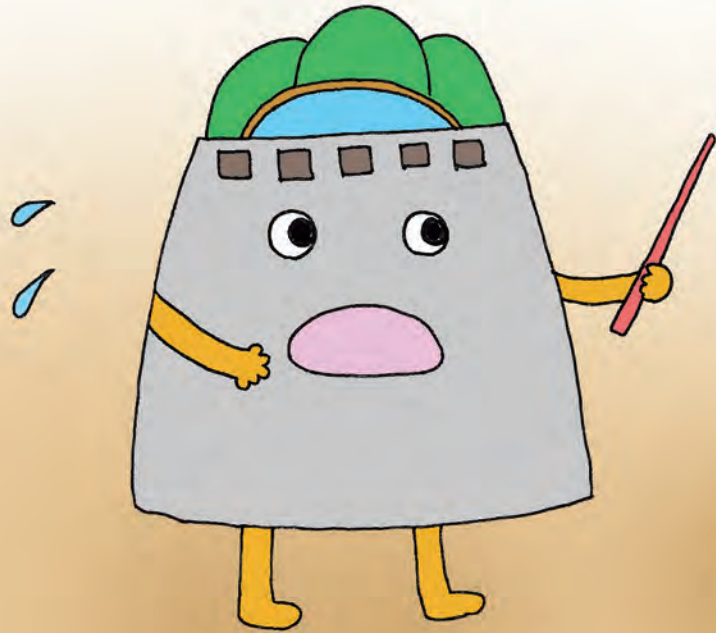


「そう！正解っ！」
「その、いっぱい降った雨を
貯めるために、7月～9月は
お腹のお水を減らしておくんだよ。」

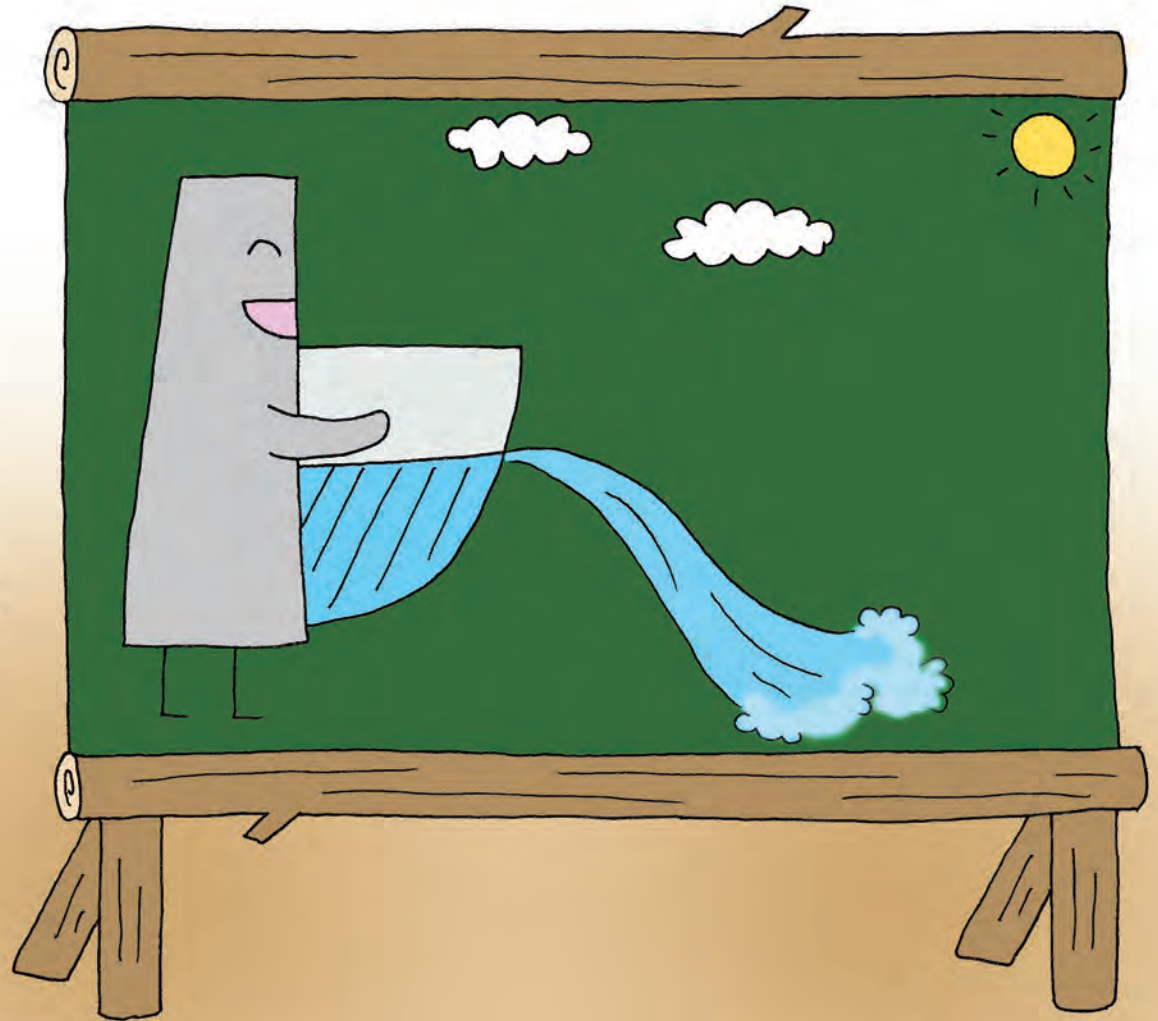
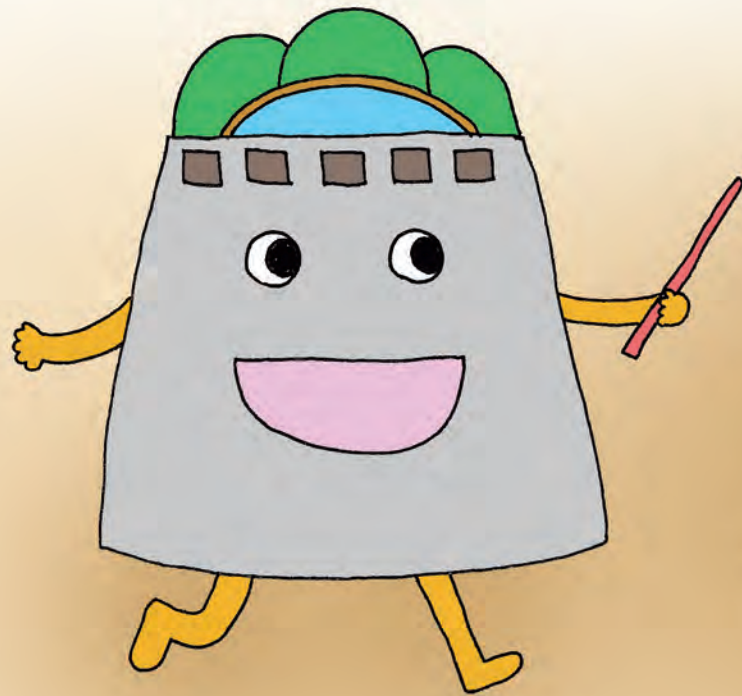
「お腹のお水を川に流すことを
“放流”っていうんだ。」



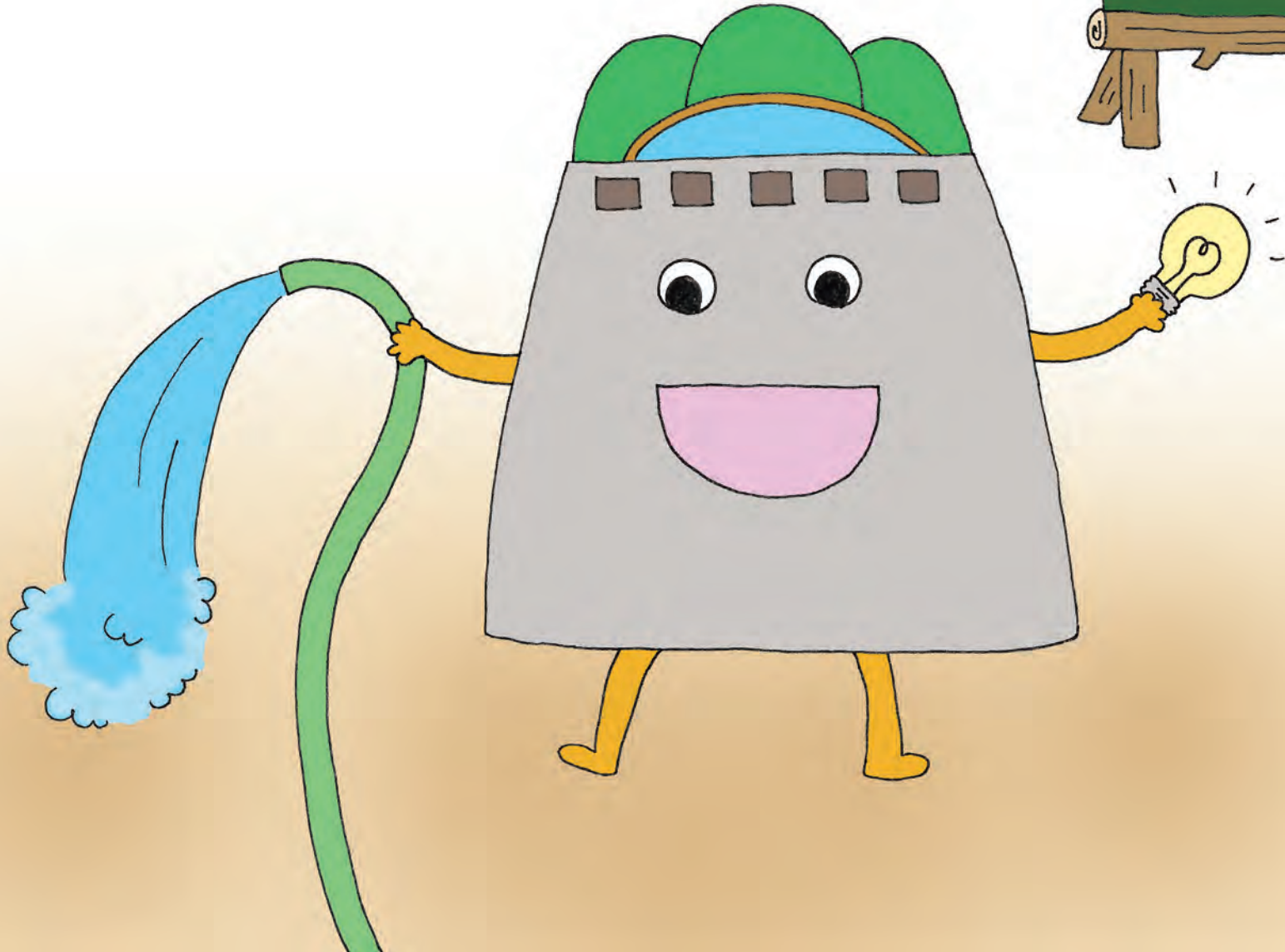
「^{なか}お腹の^{みず}お水が^{とき}いっぱい^{なか}の時に
^{おおあめ}大雨が^ふ降ったら、^{なか}ぼくの^{なか}お腹に
^{はい}入り^{ぶん}きらない^{あまみず}分の^{かわ}雨水は^{かわ}川に
^{なが}流^{なが}して^{なが}しまう^{なが}から、^{かわ}川が^{かわ}あふ^{かわ}れて
しまう^{かわ}んだ……」



「だから、川かわがあふれてしまわない
ように、大雨おおあめが降ふる前まえに少しすこずつ
流ながして、お腹なかのお水みずを減へらして
おくんだよ。」



「でも、全部のお水は流さないよ。
水道や電気に使うお水は、ちゃんと
貯めておくんだ。」



「へえ～、そうなんだあ。」

「ダムくんの^{ほうりゅう}放流って、すごく
^{たいせつ}大切なんだね！」

「ダムくん、^{おし}教えてくれて
どうもありがとう!!」

